

開催趣旨

「建設技術展2021近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化や、より広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

- ① 民間分野における建設事業に関連した技術開発への取り組みを紹介
- ② 新しく開発された技術の育成と普及
- ③ 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
- ④ 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

技術展の開催を通して、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびにコンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に寄与していきたいと考えています。

また、近年より各出展者から要望の多い新たな技術分野として「維持・更新」を設け、本格的なインフラの維持管理・大量更新を迎えた建設業界へ情報も発信、さらに、国土交通省が推進するi-Constructionを視野に、「IT・ICT」分野ではICT技術を、「施工」分野では「規格の標準化」に関する技術も紹介しています。



近畿地方整備局長
東川直正氏

近畿建設協会
谷本光司 理事長

土木学会 関西支部
三村衛 支部長



来場者数

10/27 [水]
10/28 [木]
延べ **14,491**人

技術出展

技術分野	出展者数	ブース数
防災	35	36
環境	4	4
安全・安心	31	47
施工	27	32
維持・更新	44	49
IT・ICT	31	34
団体	8	11
学校	13	13
合計	193	226

開催イベント

関西ライフライン研究会 地震防災フォーラム

「コロナ禍におけるライフラインの事業継続と災害への備え」

10/27 [水] 10:45-12:15



久内 伸夫氏

久内伸夫氏(国土交通省近畿地方整備局総括防災調整官)が基調講演を行った後、鍛田泰子氏(神戸大学大学院工学研究科准教授)のコーディネートで、藤井大三氏(西日本旅客鉄道(株)鉄道本部施設部担当課長)、松田佳明氏(株)鴻池組大阪本店土木部土木課課長、藤田蒼生氏(神戸市水道局施設課課長)、池田卓司氏(大阪ガスネットワークカンパニー供給指令部マネジャー)と久内氏がパネルディスカッションを行い、コロナ禍での防災対策やポストコロナの取り組みについて意見交換をしました。



特別講演 (公社)土木学会 会長 谷口博昭氏

「これからの暮らし、インフラと建設技術」

10/27 [水] 13:30-14:30



谷口 博昭氏

谷口博昭氏は、公共事業の重要性を強調したうえで、時代の変化を踏まえたインフラの長期計画が必要だと訴えました。



NPO法人あすの夢土木・建設コンサルタンツ協会 近畿支部 シンポジウム

「2050年に繋ぐみらい予想図

～若手技術者が描くインフラの将来像～」

10/27 [水] 15:00-17:00

大西有三氏(京都大学名誉教授・あすの夢土木理事長)のコーディネートで、南寄さくら氏(国土交通省近畿地方整備局)、青木貴志氏(西日本旅客鉄道(株))、福士真央氏(株)ニュージェック)、ルイス・ベンジャミン氏(株)大林組)と、アドバイザーの藤本貴也氏((一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部道路研究委員会特別顧問)が、30年後を展望したインフラ整備などで議論しました。

